

英 和
建 築 語 彙

英 和 建 築 語 彙

建 築 學 會 編 纂

委 員	工學博士	曾 禰 達 藏
委 員	工學博士	中 村 達 太 郎
委 員	工學博士	長 野 宇 平 治
委 員	工學博士	大 澤 三 之 助
委 員	工學博士	關 野 貞
委 員	故工學士	三 橋 四 郎

共 編

大正八年五月十二日印刷
大正八年八月二十五日再版發行
大正十一年六月五日第四版發行
大正十三年七月一日第五版發行
昭和二年五月二十五日第六版印刷
昭和二年五月二十八日第六版發行

(英和建築語彙)
定價金貳圓八拾錢

著者 建築學會

代表者

理事 曾禰達藏

東京市日本橋區通三丁目十四、十五番地

丸善株式會社

右代表者

取締役 山崎信興

東京府荏原郡世田谷町字下町五十番地

大久保秀次郎

東京市京橋區築地二丁目十七番地

株式會社 東京築地活版製造所



發行者

印刷者

印刷所

發行所

東京市日本橋區通三丁目
郵便振替貯金口座東京第五番

丸善株式會社

緒　　言

下記建築語彙編纂委員長及委員ヨリ建築學會長へ提出シタル一篇ノ書ハ本書編纂ニ關スル一切ノ事ヲ敘述セルモノナリ之ヲ以テ本書ノ緒言トナス。

建築語彙編纂完結ス。仍テ茲ニ編纂顛末概要書ヲ添附シ原稿ヲ進達ス。尙編纂ノ詳細報告ニ代ヘテ別紙目錄ノ通り關係書六冊ヲ提供ス。抑モ本員等委員トナリス業ニ從事スルヤ其委託ニ負カサラント欲シ終始及フ限努力セサルニアラサレトモ事ハ難クシテ力ハ之ニ副ハス爲ニ成ル所ノ書ハ未タ以テ満足スヘキモノニアラス。本員等自ラ猶且斯克信ス況ヤ他ニ於テオヤ。但之ヲ完全ニ近ツカシメント欲シテ洗鍊ヲ重ヌレハ之ヲ重ヌル毎ニ増減修正ヲ免レスシテ幾ト終極スル所ヲ知ラス。縱ヒ編纂完成期ハ限定サレサリシトハ言ヘ又本會會員ノ寛大ナル幸ニ督促ナシトハ言ヘ會員カ本書ノ發刊ヲ渴望スルコト久シキヲ思ヘハ最早研竅ヲ續行スル能ハサルナリ。乃チ補正ヲ他日ニ期シテ之ヲ完結セリ。庶幾ハクハ建築

辭書缺乏ノ小補填トナリテ聊本會々員及一般
建築家ヲ裨益シ以テ我建築ノ發展ニ資センコ
トヲ。

大正七年六月三日

建築語彙編纂委員長	工學博士	曾 禰 達 藏
同	委 員	工學博士 中村達太郎
同	委 員	工學博士 長野宇平治
同	委 員	工學博士 大澤三之助
同	委 員	工學博士 關 野 貞

建築學會長 工學博士 曾 禰 達 藏 殿

目 録

- 一、第一次決定原稿（建築雜誌ニ分載セルモノ）..... 壹 冊
- 二、第二次決定原稿..... 壹 冊
- 三、第三次第四次建築語彙編纂稿（問題錄、決議錄）..... 壹 冊
- 四、建築語彙雜纂（印刷關係書類、建築語諸問題、和英建築語彙草案）壹 冊
- 五、建築語彙編纂會議錄..... 壹 冊
- 六、建築語彙編纂用雜錄（建築雜誌所載、建築語一定ニ關スル諸論
說、同上建築語彙編纂ニ關スル記事拔萃、參考 建築語
彙要略、「自大正六年一月至同七年五月」建築語彙編纂事務
ニ關スル覺書）..... 壹 冊

以 上

大正七年六月三日

英和建築語彙編纂顛末概要

編纂ノ來歴 建築譯語區々不定ノ爲ニ我國建築界ノ不便不利ヲ感スルヤ久シク之ニ對シテ 建築語彙ヲ編纂スルノ必要ハ我建築家有志ノ夙ニ唱道スル所ナリキ。而シテ建築ノ歲ヲ逐フテ益々發展スルニ從ヒ 一方ニ彼ノ不便ヲ感シ他方ニ是カ 必要ヲ感スルコト益々大ナルニ拘ラス 其編纂ハ容易ナル 事業ニアラサル爲ニ 嘗テ一人ノ敢テ之ヲ試ムルモノナシ。本會々員中固ヨリ之ニ就テ論議スルモノ少カラス。殊ニ明治二十四五年ノ間建築語一定ノ論題ノ下ニ各之カ必要ヲ説キ 其實行ヲ促シテ 大ニ建築雜誌ヲ賑ハシ 會員ノ注意ヲ喚起シタリ而モ其論旨ハ皆之ヲ本會ノ事業トナスニ一致セル如シ。越エテ明治三十二年三月本會ノ臨時大會ニ於テ時ノ會長 工學博士辰野金吾氏ハ我建築學會ノ將來爲スヘキ事業ヲ列舉シ 建築熟語 一定ヲ以テ亦其必要ノ一トセリ。蓋シ此ニ謂フ建築熟語ハ則チ建築術語ナリ。我建築學會ニ於ケル建築語彙ノ編纂ハ實ニ之ニ胚胎セリ。爾後四年ヲ經テ明治三十六年ノ初工學博士塚本靖氏ハ建築語彙編纂ヲ以テ 本會ノ一事業トナシ

且速ニ委員ヲ設ケテ之ニ着手センコトヲ 役員會ニ提議シタルニ今ヤ機運漸ク熟シ 役員會ハ之ヲ議題トシテ慎重討議シタル後 竟ニ之ヲ可決シ先當時ノ編輯員中村達太郎 大澤三之助 塚本靖關野貞四氏ニ其編纂ニ關スル方法經費等ノ立案ヲ委託シタリ。同年七月特ニ臨時正員會ヲ開催シテ建築語彙編纂事業ヲ本會ニ於テ經營スルノ可否ヲ議シタルニ全會一致ヲ以テ之ヲ可決シタリ。爰ニ於テ本編纂ハ始テ本會ノ事業トナレリ。同年九月在京正員ノ通信投票ヲ以テ正員中ヨリ委員五名ヲ選舉ス然ルニ當選者中辭任者アリ同三十七年一月委員決定シ委員會成立セリ。乃チ委員會ハ翌二月編纂準備ヲ議シ三月編纂ニ着手シ爾後怠ラス之ヲ進メ稿ヲ更ルコト數回大正七年五月漸ク之ヲ完結ス。起稿ヨリ脱稿ニ至ルマテ十四年五ヶ月ヲ費シタリ。

編纂ノ方針 本語彙編纂ノ方針ハ明治三十六年七月ノ臨時正員會ニ於テ議決シタルモノアリ。建築語彙編纂委員會ハ之ニ從テ終始セリ。今之ヲ下ニ記ス。

、「語彙編スル所ハ先外國語ノ譯語ヲ一定スルニアリ。

本邦ノ術語亦一定ヲ缺ケリト雖之ヲ研究スルハ後日ニ

讓ル。」「外國語ハ英佛獨三國語ヲ用ユ。」「譯語ハ從來慣用シ若クハ書籍雜誌等ノ上ニ見エタルモノハ甚シク不適當ト認メタルモノ、外之ヲ採用ス。又一語ニ就キ學術語通常語等ノ數種アル場合ニハ共ニ之ヲ存ス。」「到底譯シ難キモノハ適當ノ外國語ニ隨ヒ唯其語義ヲ解釋スルニ止ム。又外國語ノ轉訛シテ通用語トナレルモノハ成ルヘク之ヲ用ユ。」

委員會ハ之ヲ大綱トシテ其細目ヲ議シ先今次ノ編纂ヲ其最緊急ト認ムル英和對譯辭書トナスニ決シ佛日對譯獨日對譯ノモノハ之ヲ本會他年ノ事業トナスノ希望ニ止メタリ。後本書將ニ成ラントセシ頃和英建築語彙ヲ本書英和建築語彙ニ附加スルノ議生シタレトモ後者ノ完成ヲ急クト他ノ理由ノ爲ニ實行ニ至ラサリキ。

本書載スル所ノ原語ハ現代建築ニ於テ實地ニ用ヒラレ書籍ニ出ルモノヲ採リ譯語ハ可及的平易ニシテ而カモ卑俗ナラサルモノヲ擇ヒタリ。本委員會ニ於テ新ニ作リタル譯語亦之ニ準據セリ。

本書ノ凡例ハ復以テ委員會ノ方針ヲ知ルニ足ルヘシ。

編纂ノ順序方法 本語彙編纂ノ順序方法ハ之ヲ四次

ニ分ツ。第一次ハ則チ起稿ノ準備ト初稿ノ作成ニ外ナリス他ハ每次多少其性質ヲ異ニセサルニアラサレトモ一言ニシテ之ヲ掩ヘハ盡ク更稿事業ニ屬ス。故ニ本書ハ四回稿ヲ更ヘテ成ルモノト言フヲ得ヘシ。今下ニ之ヲ概述ス。

第一次ノ編纂ハ先 Gwilt's Encyclopædia of Architectureノ卷末建築術語解ヨリ順次約百語宛ヲ抜キテ印刷シ之ヲ原語ノ原案トナシタリ。委員ハ之ニ基キ其必要ト認ムル語ニ適當ト信スル譯語ヲ附シ尙原案以外ニ有要ト考フル語アレハ同シク適譯ヲ附シ之ヲ添加シテ提出スルコト、ナシ各委員ノ提案ハ合セテ印刷サレ始テ本原案トナル。委員會ハ慎重ニ之カ可否ヲ討議シ其存廢ヲ議決シ而シテ其可決シタル原語ト譯語ハ之ヲ毎月刊行ノ建築雜誌ニ掲載シ其適否ニ就キ廣ク會員ノ意見ヲ問ヒタリ。本書編纂進行上ノ難關ハ實ニ此第一次編纂ニ在リタリ。第二次編纂ハ第一次所定ノ稿ヲ原案トシテ更ニ初ヨリ審議シテ各語ノ存廢譯語ノ適否ヲ議決セルモノナリ。委員ニ前稿ヲ配附シ委員ノ提案ヲ集合シテ之ヲ原案トセルハ前次ニ同シ。今次ノ編纂ニ於テ増減修正スル所少カラス。第三次編纂ハ懸案ノ解決挿入圖ノ選擇及全稿ノ整理ヲ爲シ傍既

定ノ原語譯語ノ當否ヲ更ニ細閱精査スルニ在リタリ。其結果復自ラ多少新舊兩語ノ取捨増減アリ。第四次編纂ハ全稿再三ノ調査整理ト出版準備ヲナスモノニテ之カ完結ハ則チ本書ノ脱稿ナリ。

本書編纂中屢次有益ナル修正案ヲ寄セラレタル會員數名アリ。又正員工學博士佐野利器氏外四氏ヨリ其編纂ニ係ル「鐵筋コンクリートに關する譯語並びに記號私案」ノ寄贈アリ。爲ニ啓發スル所尠少ナラス。孰レモ委員ノ感謝スル所ニシテ委員會ニ於テハ大抵之ヲ採用シタリ。

會合 明治三十七年二月十六日第一回委員會ヲ開キ互選ヲ以テ曾禰委員ヲ委員長ト定メ委員定例會議日ヲ毎月一回最終ノ火曜日ト決シ而シテ語彙編纂方法ノ立案ヲ中村關野兩委員ニ委任ス。同月二十九日第二回委員會ヲ開催シテ編纂方法ヲ議定シ同年三月二十九日第三回委員會ニ於テ始テ編纂ノ本議ニ入ル。是ヨリ續ヒテ順次編纂ヲ進ム。同三十八年十月三十一日第十六回ノ委員會ニ於テ自今毎三週間一回會議スルコトヲ議決ス。爾後七年ヲ經テ大正元年十二月十日第百二十一回ノ委員會ヲ以テ第一次編纂ヲ終ル。大正二年二月二十五日第百二十三回委

員會ニ於テ第二次編纂起稿ノ會議ヲ開始ス。同三年十二月八日第四百七十七回委員會ニ於テ 明年一月ヨリ委員會日ヲ隔週一回トナスコトヲ議決ス。同五年十二月二十五日第四百八十七回委員會ヲ以テ第二次編纂ヲ終ル。此時本事業ノ完結ヲ速カナラシムル爲ニ明年一月ヨリ毎週一回委員會ヲ開催スルコトヲ議決ス。同六年一月十七日第四百八十八回委員會ニ於テ第三次編纂ニ入ル同六月下旬其業ヲ終ル。同年七月ヨリ第四次編纂ニ入ル。今次ハ其初ヨリ委員長若クハ委員一人毎朝本會事務所ニ出テ編纂書記ヲ督シテ其事業ヲ進メ同年十一月ヨリ一方全稿ノ淨書ニ着手シ時々委員會ヲ開催シテ取捨ヲ決シ同十二月十九日第二百十九回ノ委員會ニ於テ畧之ヲ終ル。大正七年ニ入リテハ本編纂事業ハ第四次中ニ屬スルモノナルカ主トシテ全稿一層ノ整理ト淨書ノ完成挿圖ノ再閱ヲ爲スニ在ルヲ以テ毎週一回ノ委員會ヲ止メ必要ニ應シ隨時之ヲ開催シ而シテ大正七年五月二十二日第二百二十五回ノ委員會ヲ以テ全ク本編纂ヲ終ル。

委員ノ異動 明治三十六年九月在京正員ノ投票ヲ以テ中村達太郎塚本靖 三橋四郎 大澤三之助曾禰達藏ノ五氏

始テ建築語彙編纂委員ニ當選ス。此中塚本靖氏辭任シ其
補缺選舉ニ依リ同三十七年一月關野貞氏代テ上任ス。
同三十七年十月所謂三十七八年戰役中當時後備陸軍中尉
タリシ大澤三之助氏ハ動員召集ニ應シ軍務ニ服スル身ト
ナルヲ以テ辭任シ妻木賴黃氏其補缺委員トナル。然レ
トモ妻木氏ハ幾ハクモナク之ヲ辭シ長野宇平治氏代テ委
員トナル。大正四年十一月業漸ク終結ニ近ツキタルニ三
橋四郎氏不幸ニシテ物故シ翌五年一月其補缺選舉ヲ以テ
大澤三之助氏再ヒ委員トナル。同七年二月關野貞氏官命
ヲ以テ海外留學ノ途ニ上ルモ此時ハ本語彙略大成シ全稿
既ニ出版準備期ニ入り復全委員屢次ノ會合ヲ要セサルヲ
以テ別ニ代員ヲ作ラス。即本書完成ノ時ノ委員ハ曾禰達
藏 中村達太郎 長野宇平治 大澤三之助 關野貞ノ五氏ナリ。
今本書完成ヲ告ケテ委員三橋四郎氏既ニ亡シ。氏ハ播種
耕耘ノ勞役ニ服シテ收穫ノ效果ヲ見サルモノト云フヘク
眞ニ遺憾ニ堪ヘサルナリ。

購入書籍 建築語彙編纂委員會成立前建築學會ノ所
有セル書籍ハ殆ト皆著者若クハ出版者ノ寄贈ニ係ルモノ
ノミニシテ特ニ會用トシテ購入シアルモノハ僅ニ十指ヲ

屈スルニ足ラス。編纂用材料ノ乏シキヤ此ノ如シ。乃
テ本委員會ハ役員會ニ請求シ其參考用トシテ必要ノ書籍
三十八種ヲ前後二十餘回ニ購入シタリ。其書名ハ下ニ記
セル如シ。而シテ委員ハ各自ノ藏書ト他ヨリ借用ノ建築
書ヲ以テ其不足ヲ補ヒ參考ニ資シタルハ言フマテモナシ。

(書名ハ之ヲ略ス)

語數及圖數 建築語彙トシテ編纂スヘキ建築原語ハ
初之ヲ約三千五百ト假定シタルカ編纂其歩ヲ進ムルニ從
テ漸次増加シ竟ニ四千九百九十六語ニ上リタリ。此中複
語ノ大部分二千七百九語ハ母子語ノ關係上重出スルコト
トナシタリ。故ニ本書ノ原語ハ實數四千九百九十六語ナ
レトモ全數七千七百五語トナレリ。又挿圖ハ其名稱ヨリ
言ヘハ四百圖ナレトモ一名稱ノ下ニ二圖以上ノ例ヲ出タ
スモノアリ。故ニ其全數ハ四百八十二圖ヲ算ス。

本書ノ編纂ニ關シ一般雜務ハ松原康雄 武井邦彦二氏挿
圖用寫眞ハ土佐林義雄氏會議用務、印刷雜用、整理淨書等
ハ木村貞吉鈴木善夫二氏之ヲ分擔シテ委員ヲ幫助セリ。

凡 例

Architecture 及 Style ノ二語ニ形容詞ヲ附シタル建築用語ハ太タ多クシテ數フルニ勝ヘス。本書ハ唯其中最普通ナルモノヲ舉クルノミ。

建築材料ノ原語ハ固ヨリ本書ノ網羅スル所ニアラス。特ニ新材料ニ於テハ僅ニ其著名ナルモノヲ採ルニ過キス。

古建築語ニシテ現今殆ト死語ニ屬スルモノハ建築歴史ノ研究上幾分カ參考ニ資スヘキモノ、ミ之ヲ採リ他ハ盡ク之ヲ棄ツ。

力學圖學等ノ他學科ト共通ナル術語ハ唯建築界ニ於テ最廣ク用ヒラル、モノ、ミヲ收ム。

譯字異ナルモ其意義同一若クハ相似ノモノハ之ヲ併記シ符號ヲ以テ之ヲ別ツ。

例 Bargeboard. 破風, 檼形。

Cistern. 水槽, 水溜。

二意義以上ヲ有スル原語ニハ ① ② ③ 等ノ符號ノ下ニ其譯語ヲ分記ス。

例 Gallery. ① 廊下. ② 棧敷. ③ 向棧敷. ④ 陳列室。

二意義以上ヲ有スル原語ハ其必要ト認ル意義ノミヲ譯シテ其他ヲ略ス。

適當ナル譯語ヲ附シ難キ原語ハ之ヲ音譯ス。而シテ音譯ハ總テ平假名ヲ以テ之ヲ記ス。

例 Mutule. みゅーちゅーる。

其發音ノ正訛ヲ問ハス原語既ニ我術語トナリテ廣ク行ハル、モノハ大抵之ヲ存シテ譯語ニ代ヘ或ハ之ヲ他ノ譯語ト併記ス。

例 Paint. ぺんき。

Truss. 結構, とらす。

固有名詞及固有名詞ニ由來スル形容詞ニシテ之ニ充ツヘキ希臘羅馬等ノ如キ漢字ナキモノハ其本源ノ國語讀ニ據ラス。總テ英語讀トナシテ之ヲ平假名ニテ記ス。

例 ふろーれんす。

ごしゅく。

同一建築語ニシテ英米二國ニ於テ其意義ヲ異ニスルモノアルハ勿論ナルカ往々同一國ノ建築辭書若クハ建築書ニ於テモ之ヲ異ニスルモノアリ。本書ハ之ヲ區別シテ其各譯語ノ下ニ其出所ヲ記ス。

例 Curb Plate. ① 輪桁 (C.D. 及 P.). ② 腰桁 (D.A.).

但英米ニ於テ其意義ヲ異ニスルモノハ其二譯ヲ舉ケ而シテ其出所ハ米書名ノミヲ出シテ他ヲ略ス。

例 Snow Board. ① 雪止簀子. ② 雪止板 (D.A.B.).

二字以上ヨリ成ル組立語即複語ノ中ニハ重出スルモノアリ。之ヲ下ノ甲乙ノ二種ニ別ツ。

甲 首尾ノ二語各建築語ヲ成スモノハ其首尾各語ヲ母語トシテ其下ニ複語ヲ出ス。但子語ヲ記スルニハ符號——ヲ以テ其母語ニ代フ。以下之ニ準ス。

例 Abutment.

Arch.

— Arch.

Abutment —.

乙 建築單語ニ普通語ノ形容詞ヲ附シタル建築複語ハ獨立シテ之ヲ出シ又其建築單語ヲ母語トシテ之ヲ其下ニ子語トス。

例 Dressed Stone.

Double Door.

Stone.

Door.

Dressed —.

Double —.

母語子語ハ唯其文字ノ形ニヨリテ配置スルノミ。故ニ其意義ノ全然緣由ナキモノアリ。

例 Single. しんぐる (幅八吋長十吋若クハ十二吋ノ石板).

— Floor. 根太床, 單床.

— Lath. 薄木摺.

参考書中語義出所ノ書名トシテ特ニ掲記セル代用略字アリ。其解ハ下ノ如シ。

A. D. Adeline's Art Dictionary. New York, 1891.

C. D. The Century Dictionary prepared under William Dwight Whitney. 1903.

D. A. The Dictionary of Architecture issued by the Architectural Publication Society. London, 1892.

D. A. B. A Dictionary of Architecture and Building by Russel Sturgis. New York, 1901.

- E.C. Modern Practical Carpentry by George Ellis.
London, 1906.
- E. J. Modern Practical Joinery by George Ellis. London, 1908.
- F. A History of Architecture by Banister Fletcher. London, 1905.
- G. An Encyclopædia of Architecture by Joseph Gwilt.
London, 1903.
- K. B. C. Building Construction and Superintendence by F. E.
Kidder. New York, 1910.
- N. B. C. Rivington's Notes on Building Construction.
London, 1904 and 1915.
- P. Handbook of Technical Terms used in Architecture and
Building by A. C. Passmore. London, 1904.
- S. D. Funk and Wagnalls New Standard Dictionary of the Eng-
lish Language. London, 1914.

